

第二十五回 帝國議會 貴族院議事速記録第十五號

明治四十二年三月十五日(月曜日)

午前十時四分開議

議事日程 第十五號 明治四十二年三月十五日

午前十時開議

- 第一 子爵谷干城君請暇ノ件
- 第二 種痘法案(政府提出案)(衆議院送付) 第一讀會
- 第三 明治四十年豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第四 明治四十年豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第五 明治四十年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第六 明治四十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第七 明治四十年度清國事件第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第八 明治四十年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第九 造船獎勵法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 遠洋航路補助法案(政府提出案) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十一 用惡水井路敷瀆地買上ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第十二 醫師法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第十三 齒科醫師法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第十四 裁判所構成法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第十五 農會法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
- 第十六 獸畜市場法案(衆議院提出) 第一讀會
- 第十七 砂糖消費稅法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十八 印紙稅法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十九 國勢調查施行ノ準備ニ關スル建議案(伯爵柳澤保惠(君外三名發議)會 議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

[宮田書記官朗讀]

一昨十三日本院ニ於テ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治四十二年度歲入歲出總豫算案並明治四十二年度各特別會計歲入歲出豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

國債ノ利子所得稅免除ニ關スル法律案

登錄國債ノ擔保充用ニ關スル法律案

政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル法律案

○同日本院ニ於テ議決シタル政府提出外國領海水產組合法中改正法律案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

○同日本院ニ於テ否決シタル左ノ衆議院提出案ハ本院ニ於テ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

民事訴訟法施行條例中改正法律案

○同日本院ニ於テ採擇ヲ議決シタル樺太航路開始ノ請願及外七件ノ請願ハ各意見書ヲ付シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

沖繩縣罹災救助基金法案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ同院提出案ヲ受領セリ

裁判所臺灣總督府法院統監府法務院及理事廳ノ判決ノ執行ニ關スル法律案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

○三宅秀君 本員ハ是ヨリ請願委員會ヲ開キタイト存ジマスルカラ、御差支ガゴザイマセヌナラバ請願委員會へ委員諸氏ノ退席ヲ御許シテ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 三宅請願委員長ノ是ヨリ請願委員會へ退席ヲシタイト云フ要求ニ對シテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ御退席デ宜シウゴザイマス

○三宅秀君 請願委員諸君ハ是ヨリ十一號ノ委員室へ御出テテ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第一、子爵谷干城君請願ノ件、病氣ニ付キ會期中ノ請暇デゴザイマス、許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二、種痘法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、議案ノ朗讀ハ省略イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

種痘法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年三月十二日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔小字ハ衆議院ノ修正、ハ同削除ノ符號〕

種痘法

第一條 種痘ハ左ノ定期ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ痘瘡ヲ經過シタル者ニ付

テハ此ノ限ニ在ラス

一 第一期 出生ヨリ翌年六月ニ至ル間但シ不善感ナルトキハ出生ノ翌

年<sup>六</sup>十二月ニ至ル間ニ於テ更ニ種痘ヲ行フヘシ

二 第二期 數ヘ歳十歳但シ不善感ナルトキハ翌年十二月ニ至ル間ニ於テ更ニ種痘ヲ行フヘシ

〔第二期〕

定期前二年以内ニ善感シタル種痘ハ前項ノ種痘ト看做ス

第二條 保護者ハ未成年者ヲシテ種痘ヲ受ケシムルノ義務ヲ負フ

第三條 左ニ掲クル者ハ未成年ノ生徒、院生若ハ之ニ準スヘキ者又ハ未成年ノ寄寓者ヲシテ種痘ヲ受ケシメ又ハ其ノ保護者ヲシテ其ノ義務ヲ履行

セシムヘシ

一 學校、育兒院又ハ之ニ準スヘキ場所ノ校長、院長其ノ他首長

二 教育、監護又ハ備使ノ目的ヲ以テ人ヲ寄寓セシムル者

前項各號ニ掲クル者ノ法定代理人アルトキハ法定代理人ニ前項ノ規定ヲ適用ス

第四條 新ニ保護者ト爲リ又ハ新ニ關係ヲ生シタルトキハ種痘ヲ受

ケサルカ又ハ之ヲ受ケタル證據不明ナル未成年者ヲシテ一月以内ニ種痘ヲ受ケシメ又ハ其ノ保護者ヲシテ其ノ義務ヲ履行セシムヘシ

前項ノ期間内ニ其ノ手續ヲ爲シ難キ事由アルトキハ市町村長 區長ヲ以テ

ツル市ニ於テハ區ニ届出ツヘシ

長以下之ニ準ス

未成年者ヲ備使スル雇主ニ關シテハ其ノ之ヲ寄寓セシメサル場合ト雖前

二項ノ規定ヲ適用ス

前條第二項ノ規定ハ前三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五條 市町村ハ種痘ヲ施行スヘシ

第六條 市町村長ハ種痘定期ニ在ル者ノ種痘期日ヲ指定スヘシ

第七條 疾病其ノ他ノ事故ニ因リテ市町村長ノ指定シタル期日ニ種痘ヲ受

ケシムルコト能ハサル場合ニ於テハ保護者又ハ第三條ノ義務者ハ其ノ事

由ヲ具シ市町村長ニ猶豫ヲ申請スルコトヲ得

前項ニ依リ種痘ヲ猶豫シタルトキハ市町村長ハ其ノ證ヲ交付スヘシ

第八條 市町村長ハ第一期種痘ヲ完了シ又ハ之ヲ要セサルニ至リタル者ヲ

戶籍吏ニ通知シ戶籍吏ハ戶籍簿ノ欄外ニ符號ヲ以テ之ヲ記入スヘシ

前項ノ記入ニ關スル事務ニ付テハ戶籍法第五條ノ規定ヲ準用ス

第九條 市町村長ノ指定シタル期日ニ種痘ヲ受ケス其ノ他種痘ヲ怠リ又ハ

之ヲ受ケタル證跡不明ナル未成年者アルトキハ市町村長ハ更ニ期日ヲ指定シテ種痘ヲ受ケシメ又ハ直ニ種痘ヲ行フヘシ

第十條 種痘ヲ怠リタル者<sup>○又ハ</sup>定期外ニ種痘ヲ受ケタルトキハ第一條第二項ノ場合ヲ除クノ外其ノ種痘ハ其ノ怠リタル定期種痘ト看做ス種痘ヲ受ケタル證跡不明ナル者<sup>○ノ</sup>定期外ニ種痘ヲ受ケタルトキ亦同シ

第二期ノ種痘ヲ受ケタル者ハ第一期ノ種痘ヲ了ハリタル者ト看做ス

第十一條 第五條ノ種痘ヲ受ケタル者ノ保護者又ハ第三條ノ義務者ハ市町村長ノ指定シタル期日ニ於テ檢診ヲ受ケシムヘシ但シ其ノ期日ニ檢診ヲ受ケシムルコト能ハサル事由アルトキハ市町村長ニ届出ツヘシ

市町村長ハ前項ノ檢診ヲ經タル者ニ種痘<sup>○濟</sup>證ヲ交付スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ痘漿ヲ採收スルコトヲ得

第十二條 醫師定期種痘ヲ施シタル者ヲ檢診シタルトキハ種痘證ヲ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ種痘證ヲ受ケタル者ノ保護者又ハ第三條ノ義務者ハ十日以内ニ市町村長ニ届出ツヘシ

第十三條 醫師ハ其ノ診療ニ係ル痘瘡患者全治シタルトキ之ニ痘瘡經過證ヲ交付スヘシ

第十四條 當該吏員ノ請求アルトキハ保護者又ハ第三條ノ義務者<sup>○種痘證又ハ種痘濟證又ハ</sup>證ヲ提示セシムヘシ但シ命令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 小學校及之ニ類スル各種學校並幼稚園ニ於テハ卒業證書、修業證書又ハ保育證書ニ種痘ニ關スル事項ヲ記入スヘシ

前項ノ證書ハ種痘證ト同一ノ效力ヲ有ス

第十六條 地方長官ハ學校、育兒院、工場等ニシテ多數人ヲ集合セシメ又ハ之ヲ僱使シ若ハ之ヲ寄寓セシムルモノヲ指定シ其ノ費用ヲ以テ種痘ヲ施行セシムルコトヲ得

第十七條 地方長官ハ痘瘡豫防上必要ト認ムルトキハ種痘ヲ受クヘキ者ノ範圍及期日ヲ指定シテ臨時種痘ヲ命スルコトヲ得

臨時種痘ニ關シテハ本法ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第十八條 醫師虛偽ノ種痘證ヲ交付シ又ハ檢診セシメテ種痘證ヲ交付シタルトキハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 左ニ掲クル者ハ科料ニ處ス  
一 第四條又ハ第十一條第一項ニ違反シタル者  
二 保護者又ハ第三條ノ義務者ニシテ市町村長ノ指定シタル期日迄ニ種痘ヲ受ケシメサル者

第二十條 第十二條、第十三條又ハ第十四條ニ違反シタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處ス

第二十一條 官廳公署及官立公立ノ學校等ニ於テハ第三條第一項<sup>○及</sup>第四條第一項乃至第三項及第十五條ノ規定ニ準シ其ノ措置ヲ爲スヘシ

第二十二條 本法ニ於テ保護者ト稱スルハ未成年者ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ後見人、親權ヲ行フ者又ハ後見人ナキトキハ戶主、戶主未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ戶主ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ謂フ

本法中市町村又ハ市町村長トアルハ市制町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

附則

本法ハ明治四十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

種痘規則ハ之ヲ廢止ス

本法施行前數ハ歲七歲以前ニ種痘ヲ受ケタル者又ハ種痘ヲ受ケタルモ其ノ時期不明ナル者ハ本法ニ依ル第一期ノ種痘、數ハ歲八歲以後ニ種痘ヲ受ケタル者ハ第二期ノ種痘ヲ受ケタル者ト看做ス

本法施行前第一條第一項ノ種痘定期ヲ經過シタル未成年者ニ付テハ第四條ノ規定ハ生來種痘ヲ受ケサルカ又ハ之ヲ受ケタル證跡不明ナル者ニ關シテ之ヲ適用ス

〔政府委員窪田靜太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(窪田靜太郎君) 本案提出ノ趣旨ヲ簡單ニ申上ゲマス、現行ノ種痘規則ハ明治十三年ノ制定デゴザイマシテ、今日ニ至リマシテハ種々不備ナ點ガゴザイマス、ソレハ其改正ノ重モナ點ヲ申上ゲマスレバ、第一ニハ種痘ノ時期ヲ確定イタシマスノデゴザイマス、ソレハ種痘ヲ第一期ト第二期ニ分

チマシテ、第一期ハ出生カラ翌年ノ六月マデニ施行スベキモノデアアル、第二期ハ數ヘ歲ノ十歲ニ施行スベキモノデアアルト云フコトニ致シマスル、ソレカラ第二ニハ從來ノ規則デハ兒童ヲ保護シテ種痘ヲ規則通りニ受ケシムルト云フ責任者ノ規定ガ不十分ナノデゴザイマス、ソレデ今度ハ恰モ學齡兒童保護者ト云フ者ヲ定メマシテ之ニ兒童ノ種痘ニ關シマスル一切ノ責任ヲ負ハセルノデス、其保護者ニハ親權者デアアルトカ或ハ後見人、戶主等ノ者ヲ充テマスコトニ致シマス、ソレカラ尙ホ從來ノ規則デハ後ニ至リマシテ定期ノ種痘ヲ怠ッテ居ル者ガ有ルカ無イカト云フコトヲ調ベマシテ、之ヲ厲行シテ參ルノニ付キマシテノ途ガ不完全デゴザイマス、デ今度ハ其種痘ヲ受ケタ受ケナイト云フコトヲ明カニ致シマスルヤウナ方法ヲ付ケマシテ、サウシテ怠ッテ居ル者ニ對シテ厲行ヲ圖ル積リデゴザイマス、其他學校ノ校長或ハ育兒院等ノ院長ナドニモ責任ヲ負ハセマシテ、種痘ノ普及ヲ圖リタイノデアリマス、其他種々細目ニ互リマシテ改正ヲ致シマス點モゴザイマスガ、此所ニハ省略イタシマシテ委員會デ述べタイト存ジマス、大略提出ノ趣旨ヲ斯様ニ申上ゲマス、宜シク御協賛ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三、明治四十年豫備金支出ノ件、第四、明治四十年豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、第五、明治四十年度特別會計豫備金支出ノ件、第六、明治四十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件、第七、明治四十年度清國事件第二豫備金支出ノ件、第八、明治四十年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議

- 明治四十年豫備金支出ノ件
- 明治四十年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
- 明治四十年度特別會計豫備金支出ノ件
- 明治四十年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件
- 明治四十年度清國事件第二豫備金支出ノ件
- 明治四十年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件
- 右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年三月十二日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第九、造船獎勵法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第十、遠洋航路補助法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、特別委員長二條公爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕  
造船獎勵法中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
明治四十二年三月十二日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長 公爵 二條 基弘

遠洋航路補助法案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
明治四十二年三月十二日

右特別委員長

公爵 二條 基弘

〔公爵二條基弘君演壇ニ登ル〕

貴族院議長公爵徳川家達殿

○公爵二條基弘君 唯今問題トナッテ居リマス造船獎勵法中改正案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報道イタシマス、此案ハ極ク簡單ナル案デアリマシテ、此趣意書ニモアリマス通り施行後ノ實跡ニ徴シテ保護ノ效果ヲ適切ナラシムルタメ此改正ヲスルト云フ意味デアリマスノデ、委員會ニ於キマシテモ十分審査ヲ致シマシタ、其事柄ハ既ニ最早速記録ヲ以テ諸君ノ御手許ニ回シテゴザイマスルカラ御承知ノコト、信ジマスルカラ、モウ事柄ハ略シマス、總テ審査ノ後ニ本案ハ原案ノ通り滿場一致ヲ以テ可決イタシタ次第デアリマス、次ニ遠洋航路補助法案ノコトヲ申シマスガ、是モ法案ノ趣旨ニ付キマシテモ十分ニ委員會ニ政府委員トノ質問應答ガアリマシタ、併シ此案ト致シマシテハ航海獎勵法ト云フモノハ從前ノ十二年間ニ於キマシテ既ニ其期間ニ於テノ

效ト云フモノハ著シク舉テ居リマスケレドモ、又是等海運ノ現狀ト云フモノハ到底此獎勵法ト云フモノヲ制定シタトキトハ大分變テ居リマスカラシテ、此所デ此法案ト云フモノヲ改正イタシテ是カラ先キ遠洋航路ト云フモノヲ限定スル等、追々ニ發達シテ行クコトガアルカラ、ソレ等ニ於テモ十分保護ヲシ、又發達ノ趨勢ト云フモノニ付イテ制度ト云フモノヲ改正シナケレバナラヌト云フ大體ノ趣意デアリマス、是モ種々委員會ニ於テハ質問モアリマシタケレドモ、是亦速記録ニ於テ御手許ニ回テ居リマスルカラ御承知ノコト、思ヒマスカラ、最早此所デ省略イタシマシテ、此兩案共ニ委員會ニ於キマシテハ滿場一致ヲ以チマシテ原案ノ通り可決ニナリマシタカラシテ此段御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 委員長ノ報告ハ二案束ネテ致サレマシタガ、唯今問題ト致シマスノハ第九ノ法案ト御承知ヲ請ヒマス、……別ニ御發言モ無イト認メマスカラ採決ヲ致シマス

○公爵二條基弘君 別段ニ御異議モ無ケレバ讀會省略ヲ以テ兩案トモ可決セラレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○谷森眞男君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○中島永元君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○田中芳男君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 二條公爵ノ兩案トモ讀會省略ト云フ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第九ノ法案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ議事日程第十ノ法案ニ移リマス、本案委員長ノ報告ヲ可トセラル、諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十一、用惡水井路敷潰地買上ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

用惡水井路敷潰地買上ニ關スル法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月十一日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長 公爵徳川家達殿

第一條 諸府藩縣支配地及御預地内ニ於テ舊幕府又ハ舊藩主若ハ地頭ノ起工ニ係ル用惡水井路敷潰地ニシテ代米(貢租、作德米)ノ下渡ヲ受ケタル者ハ其ノ潰地ノ買上ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依リ買收スル土地ノ補償金ハ明治四十一年度ヨリ遡リテ三箇年ノ石代平均相場ニ依リ作德米ノ七箇年半分ノ金額トス

第三條 本法ニ依リ買上ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ本法施行ノ日ヨリ一年

内ニ事實及證據ヲ具シ地方廳ヲ經由シテ内務大臣ニ出願スヘシ

第四條 内務大臣ノ處分ニ對シ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第五條 本法施行ニ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ明治四十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 此際本案ニ付キマシテ政府ノ意見ヲ申述べテ、御參考ニ供シタイト思ヒマス、政府ハ本案ニ對シマシテハ衆議院ニ於テ不同意ヲ表シマシタノデゴザイマス、此案ハモト明治八年ニ此種類ノ土地デアッテ、即チ公共ノ用ニ供セラレテ居ル私有地ニ對シマシテ、所有者ノ請求ニ依ッ

テ賠償ヲ與ヘルト云フ途ヲ開キマシタノデ、其後再度此期限ヲ延バシマシテ、最後ニ明治十九年ニ一定ノ期間ヲ定メテ取調漏レノ分ハ、ソレマデノ間ニ願出ヅルナラバ買上ゲテヤラウト云フコトヲ發令イタシマシタノデアリマス、其期限内ニ願出デズシテ漏レテ居ツタモノガ今日マデ殘ツテ居ルノデアリマス、件數ハ固ヨリ澤山ハゴザイマセヌガ、一二サウ云フ例ガアリマシテ、其者ヨリ請願ガ衆議院ニ提出セラレマシテ、其請願ニ基ヅイテ此法律案ガ出テ來タノデアリマス、併シ斯様ニ本人ノ懈怠ヨリシテ願出デザルガ爲ニ買上ノ恩典ニ浴スルコトガ出來ナカッタノデアリマスカラ、固ヨリ本人ノ過失ニ基ヅクモノデアリマス、此類ノモノニモ法律ヲ以テ又更ニ期限ヲ與ヘルト云フコトニナリマス、他ノ類似ノ事ニマデ及ボシマシテ、例ヘバ國有林ノ下戻デアルトカ、復祿ノ請願デアルトカ、一定ノ期限内ニ願出ヅベキモノガ、期限ヲ怠ツタ爲ニ救濟ヲ得ナカッタト云フモノガ、段々又更ニ願出デルト云フヤウナ端緒ヲ啓クデアラウト思ヒマス、是ハ人民ヲシテ法令ヲ輕ンゼシムルノ端ヲ啓クモノデアッテ、其影響スル所ハ尠ナクナイデアラウト思ヒマスカラ、此法案ニ對シマシテハ、政府ハ同意ヲ表スルコトガ出來ナイト云フコトヲ衆議院ニ於キマシテ表明シテ置キマシタノデアリマス、政府ノ意見ハ斯様ナコトデアリマスカラ、本案ハ可決セラレナイヤウニ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十二、醫師法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

醫師法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月十一日

衆議院議長 長谷場 純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

醫師法中左ノ通改正ス

第五條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ死亡當時迄引續キ治療セル者ニ死亡診斷書ヲ交付スルハ此ノ限ニ在ラス

第七條 醫師ハ何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス左ノ事項ノ外之ヲ廣告スル

コトヲ得ス

勲位、學位、稱號、前職、事故(病氣又ハ旅行等)、專門科診察時間、病院又ハ醫院名、醫員又ハ藥劑師名、住所、姓名

第十條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

本法ニ依リ行政官廳ノ爲シタル處分ニ對シテ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得若シ違法處分ニ由リ權利ヲ毀損セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十一條中「第六條、」ヲ「第六條第二項、」ニ改ム

〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 本案ニ對シマシテモ此際政府ノ意見ヲ申述ベテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、本案ノ改正ノ要點ハ數箇條ニ互ツテ居リマスケレドモ、就中醫師ニ對シマスル業務ノ停止若クハ禁止ノ處分ニ對シテ行政訴訟ヲ許スト云フノガ重モナル點デアリマス、又醫師ノ廣告ニ對シマシテ、法律ヲ以テ制限ヲ加ヘルト云フコトモ一箇條デアリマス、其外尙ホ二三ノ條項ニ付イテノ改正ガアリマスガ、其中ノ或ル事柄ニ付イテハ一向此案ニ對シテ異議ノ無イコトモアリマスケレドモ、兎ニ角醫師法ノ制定以來、マダ格別ノ日數ヲ經ナイコトデアリスカラシテ、今日ニ於テ此改正ヲ行フダケノ必要ハ無カラウト考ヘマス、又實際ノ扱ヒニ於テ差障リノ無イヤウニ處置シテ行クコトガ出來マス考デアリマス、而シテ行政訴訟ヲ許スト云フコトニ付キマシテハ、御承知ノ通り醫師ノ業務ヲ停止若クハ禁止スルト云フコトニ付イテハ、矢張り慎重ナル手續ヲ以チマシテ、殊ニ御承知ノ通り中央衛生會ノ審議ヲ經テ内務大臣ガ其處置ヲ致スノデアリマス、殊ニ是マデノ實例ニ依ッテ見マシテモ、業務ノ停止若クハ禁止ニ對シテハ餘ホド慎重ナル審議ヲ遂ゲテ、決シテ不當ナル、若クハ其事柄ガ事態ニ鈞合ハナイヤウナ苛酷ナル處分ヲシタト云フヤウナ實例モアリマセヌノデ、之ニ付イテ行政訴訟ヲ許スト云フコトハ必要ガ無イノミナラズ、此中央衛生會ノ審議以上ニ尙ホ慎重ナル審議ヲ經テ處分ヲスルト云フ途ハ殆ド無イノデアリマス、此點ニ付キマシテハ政府ハ到底同意ヲ表スルコトハ出來ナイノデアリマス、又其他ノ點ニ付キマシテモ前ニ申上ゲマシタ通り別ニ差障リヲ見ナイヤウニ處置ヲ致シテ參ル積リデアリマス、要スルニ本案ハ必要ガ無イト認メテ居リマスノデアリマス、尙ホ此際併セテ次ノ日程ニ上ボツテ居リマス所ノ齒科醫師法ニ就イテ申述ベマスガ

……然ラバ是ハ此次ノ日程ニ移ッテカラ申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十三ニ移リマス、齒科醫師法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

齒科醫師法中改正法律案  
右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月十一日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

齒科醫師法中左ノ通改正ス

第七條 齒科醫師ハ何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス左ノ事項ノ外之ヲ廣告スルコトヲ得ス

勳位、學位、稱號、前職、事故(病氣又ハ旅行等)、専門科、診察時間、病院又ハ醫院名、醫員又ハ藥劑師名、住所、姓名

第十條第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

本法ニ依リ行政官廳ノ爲シタル處分ニ對シテ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得若シ違法處分ニ由リ權利ヲ毀損セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十一條中「第六條」ヲ「第六條第二項」ニ改ム

(政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(一木喜徳郎君) 此法案ハ現行齒科醫師法ノ中ニ一箇條ヲ加ヘマシテ、業務ノ停止若クハ禁止ノ處分ニ對シマシテ行政訴訟ヲ許スト云フ案デアリマス、即チ前ノ醫師法ノ改正案ニ就キマシテ申述ベマシタノト同ジ理由デ、之ニ付キマシテモ矢張り中央衛生會ノ審議ヲ經テ慎重ニ處分ヲ致シテ居リマスノデアリマスカラシテ、更ニ行政訴訟ヲ許スト云フ必要ハ無イト信ジマス、本案ハ唯ソレダケノ改正デアリマスルカラ否決セラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際諸君ニ御諮リヲ致シタク思ヒマス、議事日程第二、第十二、第十三、三案トモ同一委員ニ付託イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十四、裁判所構成法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

裁判所構成法中改正法律案  
右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月十一日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

裁判所構成法中左ノ通改正ス

第四十條中「五人」ヲ「三人」ニ改ム

第四十一條中「五人」ヲ「三人」ニ「七人」ヲ「五人」ニ「五人又ハ七人」ヲ「三人又ハ五人」ニ改ム

第五十三條中「七人」ヲ「五人」ニ改ム

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十五、農會法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

農會法中改正法律案  
右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月十二日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

農會法中左ノ通改正ス

第一條ノ二 農會ハ市町村農會、郡農會、北海道農會、府縣農會及帝國農會トス

第四條 削除

第五條中「十五萬圓」ヲ「二十萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十六、獸畜市場法案、衆議院提出、第一讀會

獸畜市場法案

右本院提出案及送付候也

明治四十二年三月十二日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

獸畜市場法

第一條 本法ニ於テ獸畜ト稱スルハ牛馬羊豚ヲ謂ヒ市場ト稱スルハ牛馬羊豚ヲ蒐集シテ賣買取引スル場所ヲ謂フ

第二條 市場ヲ分テ常設市場、定期市場、不定期市場及臨時市場ノ四種トス

第三條 市場ヲ設立セムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クヘシ

第四條 行政官廳ハ常設市場ニ限リ主務大臣ノ認可ヲ得テ地區ヲ定メ市場ノ免許ヲ與フルコトヲ得

前項地區内ニ於テ販賣ニ供スル目的ヲ以テ獸畜ヲ地區外ヨリ搬入シタルモノハ市場外ニ於テ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 常設市場ノ免許期間ハ二十箇年トス但シ繼續ノ出願ヲ爲スコトヲ得

第六條 市場ニ於ケル賣買取引ノ方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 行政官廳ハ市場ノ行爲命令ニ違反シ衛生上危害ヲ生シ又ハ公益ヲ害シ若ハ公衆ノ安寧ニ妨害アリト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 市場設立免許ノ取消
- 二 市場ノ業務停止
- 三 市場賣買物件一部ノ停止又ハ禁止

第八條 行政官廳ハ官吏ヲシテ市場ニ臨檢セシメ建物其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ外行政官廳ハ市場ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第九條 本法ハ軍馬又ハ産牛馬組合法ニ依リ設立シタル組合市場ニハ之ヲ適用セス

第十條 本法第三條、第四條第二項ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第十一條 本法ハ明治四十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十二條 本法施行前ニ認可ヲ得タル市場ハ本法施行ノ日ヨリ三箇年間ハ本法ニ依リ免許セラレタルモノト看做ス但シ既設ノ市場ハ命令ノ定ムル期日迄ニ行政官廳ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス此ノ期日ヲ經ルモ仍認可ヲ申請セサルトキハ免許ノ效力ヲ失フ

〔政府委員押川則吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(押川則吉君) 唯今議題ニ上ボリマシタ獸畜市場法案ハ衆議院ノ提出ニ係ルノデゴザイマスルガ、從來行ハレテ居リマスル市場ノ慣行、又産牛馬組合法ニ依ッテノ關係、ソレ等ノコト、頗ル關係ガ錯雜イタシマスルノデ、農商務省ニ於キマシテハ特別ニ此市場ノ法律ヲ作ルニハ絶對ニ反對デハゴザイマセスケレドモ、前ニ申シマシタ關係等ノコトガ能ク一致セスコトガ多イヤウニ考ヘマスルシ、又此法案ハ頗ル不完全ノ廉ガアルヤウニ考ヘマス、馬ノコトニ付キマシテハ、是ハ農商務省ノ關係デゴザイマセス、馬政局ノ主管ニ屬シテ居リマスルガ、馬政局ニ於キマシテモ同様ノ考デゴザイマシテ、此法律ノ儘デハ實行上ニ甚ダ差支ヘルト云フ考デゴザイマスルノデ、コレニハ反對ノ意見ヲ持ッテ居ルノデゴザイマスカラ、此コトヲ茲ニ一言申述ベテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十七、砂糖消費稅法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、特別委員長寺島伯備

砂糖消費稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月九日

右特別委員長



〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君 此日程ニ上ボリマシタ砂糖消費税法中改正法律案ノ特別委員會ノ審査ノ模様ト結果ヲ御報道イタシマス、此委員ハ三月二日ニ議長ヨリ指名ニナリマシテ、六日ニ正副委員長ノ互選ヲ終ッテ、六日、八日、九日ニ互ッテ開會ヲ致シマシタ、デ此案ニ對シマスル政府ノ意見ヲ聞取リマシテ、引續イテ委員カラ數多キ質問ガゴザイマシテ、續イテ討論ニ移リマシテ委員カラ極メテ鄭重ニ此問題ヲ研究サレタ結果ヲ御話シニナッテ、遂ニ其當時出席サレタ委員ノ全會一致ヲ以テ可決サレタノデアリマス、ソレデ審査中ニ研究イタシマシタ此衆議院案提出ノ理由ヲ調べテ見マスルノニ、第一ニ研究シナケレバナリマセヌノハ今日ノ砂糖業ノ實際ノ有様ト云フコトデアリマス、デ砂糖ハ臺灣ニモ出來マスルシ、沖繩、大島ニモ出來、其他小笠原島、四國、静岡ト云フヤウナ所ニモ出來ルノデアリマス、又内地ニハ其以外ニ精製糖會社ト云フモノガアルノデゴザイマス、此臺灣ノ砂糖ニ對スル政府ノ態度デアルトカ、又内地ノ精製糖會社ニ對スル政府ノ態度デアルトカ、沖繩、大島、其他黒砂糖ノ産地ニ對スル政府ノ態度ト云フモノガ同一デナイ、或ルモノニ對シテハ非常ニ寛大ナ手心ヲ用キテ居リ、又或ルモノニ對シテハ法律ニアル通り嚴重ノ規則ヲ施行シテ居ルト云フ譯デアリマシテ、甲ニ厚ク、乙ニ厚ク、丙ニ薄イト云フ有様デアリマシテ、是ガ本案提出ノ一ツノ原因ニナッテ居リマス、ソレカラ第二ニハ、今日ノ消費税法ニ依リマシテ黒砂糖ニ課セラレテ居ル税金ト云フモノハ消費税デアアルナレドモ、黒砂糖ニ取ッテハ生産税デアッテ、イヤ殆ド禁止税デアッテ到底黒砂糖ガ堪ヘ得ベキモノデナイト云フノガ第二ノ議論デアリマス、ソレカラ第三ノ理由トスル所ハ、今日ノ消費税ヲ課スルニ付キマシテハ砂糖ヲ四段分類ニ分ッテアルノデゴザイマス、和蘭色相標本ト云フモノガ二十一號カラ二十五號デアリマス、其色相ノ何號ニ當ルモノガ第一號デアアル、何號カラ何號マデガ第二號デアルト云フヤウニ分類シテアルノデゴザイマシテ、此黒砂糖ノ如キモノハ和蘭標本ノ八號未滿ノ第一トシテアルノデゴザイマスルナレドモ、黒砂糖ノ如キ劣等ノ砂糖ガ此第一種類ニ屬シテ居リ、八號未滿ニ入レテアルノガ一體不都合デアアル、税ヲ課スルトキニ和蘭標本ニ準ジテ之ヲ入レタノガ不都合デアアル、是ハ

全然等外ニ置カナケレバナラヌモノデアッタト云フノ理由デアアルノデアリマス、政府ハ之ニ對シテ反對ヲシテ居ルノデアリマス、政府ノ言フ所デハ、成ルホド臺灣ヤ内地ノ精製糖ニ對シテハ手心ヲ用キテ寛大ナ取扱ヲシテ居ルト言ハル、ケレドモ、ソレハ甚ダ悪ルカッタ、併ナガラ今後ハ注意ヲシテ此手心ハ止メテ仕舞フカラ、ソレヲ止メタ曉ニハ一向黒砂糖ニ及ボス影響ハ無クナルカラ、決シテ悪ルイ影響ハ及バヌ、寧ロ良イ影響ヲ及ボシテ黒砂糖ガ市場ニ値ヲ出スコトニナリ、又賣レル途モ付クコトデアルカラ、是サヘ止メレバ一向差支ハ無イ、税法ヲ厲行サヘスレバ不都合ハ無クナル、ソレ故ニ政府ハ税法ヲ厲行スルト云フ理由デ此案ニハ反對ヲスル、又第二ニハ今財政整理ノ際デ出來得ル限り費用ヲ節減スル際ニ歳入ヲ減少シテハ甚ダ困ル、其減少スル額ハ色々議論モゴザイマスルケレドモ、彼是レ此一種糖ヲ八千万斤ト見テ一圓ノ税ガ減税ニナリマスルデ、是ガ八十万圓、ソレカラ輸入品ノ方デ四五千万斤這入ルモノト見テ是ガ四五十万圓、合セテ百二十三十万圓ノ減少ニナルカラ、是ハ政府ガ最モ困ル所デアルカラ反對ヲスル、ソレカラ第三ノ反對ノ理由ハ四段分類ニ屬スル第一種ノ砂糖ノ税ノミガ重イデハナイ、第二種、第三種、第四種共ニ税ノ重キヲ訴ヘテ居ル際デアアルカラ、此際ニ消費税中ノ一部一角デアアル第一種ノ消費税ノミヲ改正スルノハ不同意デアアル、政府ハ或ル時機ニ於テ消費税全部ノ改正ヲ行ッテ、サウシテ砂糖消費税ヲ改正スルコトヲ望ムカラ、今日此一部一角ニ手ヲ付ケルコトハ反對デアルト云フノガ政府ノ反對ノ理由デアリマシタ、ソレカラ質問ニ移リマシタ節ハ各委員カラ統計上、技術上、又政策ノ上ニ於ケル色々ナ質問ガ出マシテゴザイマス、又此砂糖ハ協定税率ト云フノモアルノデアリマスカラ、外交關係ニハドウ云フ影響ヲ及ボスモノデアラウカト云フ質問モアッタノデアリマス、其質問ノ中デ此所ニ繰返シテ申上ゲルヤウナコトハ他ニハアリマセヌデアリマシタケレドモ、最モ大切ト思フ所ハ砂糖政策ニ付イテノ政府ノ返答デアリタノデアリマス、政府ノ申シマス所デハ今日内地デ消費シテ居ル砂糖ト云フモノハ約五億ホドデアアル、其中ノ二億ダケハ内地デ生産スルコトガ出來ルガ、アトノ三億ハ外國品ニ仰ガナケレバナラヌ、即チ輸入品デアアル、併シ政府ノ希望スル所デハ或ル時期ニ於テ内地ヨリ二億クラキノ生産額ヲ期待シ、臺灣ヨリ三億ノ生産ヲ期待シ、合セテ五億ノモノヲ日本デ拵ラヘルコトノ出來ル希望ヲ有ッテ居ルト云フコトデアアル、即チ詳細ニ言ハバ内地ノ精製糖、今

日出來テ居ル所ノ精製糖工業ハ成ルベク維持シテ行ツテ、同時ニ臺灣沖繩大島等ノ粗糖ヲモ十分ニ發達セシメテ、直接消費ノ需要ヲ充タスト云フ上デ餘ル所ガアレバ、是ハ精製糖ノ原料ニ向ケタイ、決シテ臺灣ニ望ミテ殘シテ置イテ他ノ内地デ出來ル所ノ砂糖ヲ顧ミナイデハナイ、決シテ黑砂糖ヲ減亡セシメテ仕舞フ考ハ毛頭政府ニ無イト云フコトヲ十分説キ明カサレタ次第デアリマス、是等ノコトヲ綜合シマシテ委員會デ研究シマシタ所デハ、成ルホド臺灣ニ對シテハ非常ナ寛大ノ手心ヲ用キテ檢定ヲシテ居ル、又内地ノ精製糖ニ對シテハ協定查定法ト云フヤウナ寛大ナ取扱法ガアル、サテ其場合ニ於テ將ニ重キ稅ノ爲ニ殆ド亡ビムトシテ居ル所ノ沖繩大島等ノ黑砂糖ニ對シテハ如何ナル手段ヲモ採ラズニ打チャツテ置クノハ甚ダ調和シタヤリ方デナイ、ドウカシテ助ケテヤラナケレバナラヌト、斯ウ云フコトデアリマス、マダ色々委シク申上ゲマスレバゴザイマスケレドモ、ソレハ省キマシテ大要ヲ申上ゲマス、サウ致スコトガ又今後ノ生産額ヲ増ス上ニ於テモ、從ツテ製作モ殖エテ來ル上ニ於テモ、大切ナ利源デアアルカラシテ、ドウシテモ今日ノ場合、困難ヲシテ居ル所ノ黑砂糖ヲ救ツテヤラナケレバナラナイト云フコトニ決定ヲ致シテ、終ニ此案ヲ、當時出席サレタ各委員ノ一致ヲ以テ可決シタコトデアリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ政府ガ斯ノ如キ理由明白デアルニモ拘ラズ反對ヲサレル態度ヲ採ラレタコトハ甚ダ遺憾トスル所デアッタノデアリマス、デ今日ニ至リマシテモ此衆議院ノ提出ノ改正案ノ精神ヲ存シテ置イテ尙ホ如何ナル途カニ依ツテ政府ト折合フコトガ出來レバ誠ニ仕合セナコトダト云フコトヲ、我々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此一言ヲ添ヘテ置キマス、此段御報告ヲ致シテ置キマス

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クベシトスル説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數  
○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス  
〔男爵武井守正君發言ノ許可ヲ求ム〕  
○議長(公爵徳川家達君) 武井男爵ハ修正ノ理由ヲ御述ベニナルノデアリマスカ

○男爵武井守正君 ハイ  
○議長(公爵徳川家達君) 御登壇ヲ請ヒマス  
〔男爵武井守正君演壇ニ登ル〕

○男爵武井守正君 私ハ本案ニ對シテ修正動議ヲ提出イタシマス、其修正ハ「樽入白下糖及糖蜜」ト云フ八字ヲ削ラウト申スノデアリマス、ナゼ白下糖蜜ヲ削ルト申シマスルト、此白下ト申スル砂糖ヲ糖蜜ヲ分離シマシテ、樽底カラシヤクツテ見マス、其砂糖ハ色相和蘭標本十五號以上ノモノモアルノデアリマス、十五號内外ト申シマスルト、二種糖及三種糖デゴザイマスカラ相當良イ砂糖デアアルノデ、若シ此白下ヲ減稅ヲ致シマシタラバ、或ハ糖蜜ヲ混和シテ樽入ニシテ海外ヨリ輸入セム程モ圖リ難イト思ヒマスルノデ、甚ダ此減稅ハ恐ルベキモノト存ジマスカラ、削除シヤウ……セネバナラヌト存ジマス、又糖蜜ハ是ハ糖蜜ダケヲ製造スルモノデナクシテ、砂糖ヲ製シマスレバ之ニ伴ウテ自然ニ出ル、謂ハ、砂糖ノ滓ト申シマスルカ、砂糖ノ副産ト申シマスルカ製糖ニ隨伴シテ自然ニ出ルノデゴザイマスカラ、何モ是ガ爲ニ費用ヲ要スルデモ何デモナイノデ、而シテ現今ノ市場ノ價ハ七圓臺乃至八圓ホドシテ居ルラシウゴザイマスガ、其費用モ要ラナイ砂糖ノ滓ノ如キモノ副産物ガ三圓ノ稅ヲ拂ツタカラト申シマシテ尙ホ四圓五圓ノ利益ヲ見ルコトガ出來ルノデアリマス、而シテ之モ減稅ヲシマシタ結果ニ依リマシテハ海外カラ輸入セムホドモ圖リ難ウ存ジマスカラ、ソレ故ニ之ヲ削ラウト存ジマス、又減稅スル必要ヲ見マセヌノミナラス、甚ダ恐ルベキ感ジテ起シマスルカラ、旁斷ジテ是ハ減稅スベカラズト本員ハ思ヒマス、唯今委員長ノ御報告ニモ主

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵武井守正君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトノ動議ヲ起シマス

○南郷茂光君 賛成

トシテ黒糖ノコトノ御調べヲ詳細御報告ニナリマシテ、白下糖蜜ノコトハ何等御詮議ガ無カッタモノ、如クニ伺ハレマス、蓋シ重キヲ置カレナカッタモノニ相違ナイト存ジマス、コレハ是非減稅ヲ致サナケレバナラヌト本員モ信ジマスルノデゴザイマス、此黒糖ハ今委員長モ言ハレマス通り小笠原、静岡其他鹿兒島ノ一部ニモ僅ニ出來ハ致シマスルケレドモ、ソレハ誠ニ僅少ナモノデ、主トシテ沖繩大島ノ產物デアアルノデゴザイマス、今此黒糖ノ減稅ニ對シマシテハ、或ハ島民ガ減稅ノ爲ニ安シクテ改良心ヲ失ヒハシナイカ、サウナレバ政府ガ糖業政策ノ上ニモ妨害ニナルデハナイカト云フ御案ジテ御持チニナル方モアリマセウガ、私ハ決シテ其事ハ無イト存ジマス、何故ト申シマスト、新式ノ機械ヲ据エテ、大ニ發展ヲ致シマスノハ、臺灣ノ如キ廣原平野ニ於テコソ爲シ得ラレマスル譯デゴザイマスケレドモ、沖繩大島ノ如キ孤島ニ於テ、而シテ此地形ガ平坦デナイノデゴザイマス、各所ニ散在シテ僅カナ數量ヲ造ッテ居ルノデゴザイマスカラ、之ヲ機械ガ一場ニ收集シテ榨ルト云フコトハ頗ル困難デアリ、又交通機關ガ無イノデアリマスカラ、人馬ニ依ッテ運バレナケレバナラス、此甘蔗ナルモノハ刈レバ從ッテ榨ルデナケレバ糖分ガ減ジマスカラ、若シ一晚ヲ越スガ如キコトガゴザイマシテハ、非常ニ收穫ヲ減ジテ仕舞フノデゴザイマス、故ニ將來ニ向ッテモ臺灣ノ如キ大規模ナ機械ヲ据エテ改良スルト云フコトハ、到底不可能ノコトカト存ジマス、果シテサウ致シマスレバ沖繩大島ハ已ムヲ得ズ舊來ノ舊式ノ今日ノ儘デ矢張り榨ルノ外ハアルマイト存ジマス、其内人智ガ進ミマシテ小規模ニシテ今日ヨリ宜シイモノヲ製出スルコトノ考ハ見出シモ致シマセウケレドモ、現今ノ機械ニ依リマシテハ到底アノ兩島ノ如キハ機械ニ依ッテ改良スルト云フコトハ爲シ得ラレヌコト、存ジマス、農商務省デ砂糖改良局ヲ兩島ニ置イテ、頻ニ獎勵ヲシツ、アルノデゴザイマスケレドモ、大島ノ如キハ到底機械製ニ依ルコトハ出來マセヌカラ、或ハ種類ノ撰擇、又ハ耕作法ノ改良トカ、又ハ販賣組合ヲ設ケシムルトカ云フ如キコトニ著々獎勵ヲ進メラレテ、爲ニ島民ハ餘ホド進歩ヲ致シタ趣デゴザイマスケレドモ、ドウモ唯今ノ改良局スラ機械ニ依ッテ臺灣ノ如キ規模ヲ以テ改良スルコトハ爲シ得ラレヌト申スルコトヲ當局ノ人モ申シテ居ラレル程デアアルノデゴザイマス、果シテサウ致シマスレバ今日ノ三圓ノ稅ハ此粗惡ナル砂糖ニ向ッテハ、非常ニ重イ稅ト言ハナケレバナリマセズ、島民ハ他ニ何モ生産ハ無イノデゴザイマスカラ、前年ハ僅カナ稅ガ

段々進ンデ、昨年ヨリハ三圓ニモ上ボリマシタ爲ニ、委員長ガ言ハレマス通り島民ハ非常ナ苦痛ヲ遂ニ之ガ爲ニ此物産モ廢滅スルカモ知レヌト考ヘマサルデゴザイマス、故ニ私ハ「樽入白下糖及糖蜜」此八字ヲ削除セムコトノ動議ヲ起シマスルノデゴザイマスガ、委員長ノ御報告ニモ此白下糖蜜ニ對シテハ、サシテ御説明モ無イ程デゴザイマシタカラ、蓋シ本員ガ考ヘマスルト同様、黒糖ニ對シテ御審議ヲ御盡シナッタコト、存ジマスガ、何トカ修正ニ御贊成クダサルコトヲ委員諸君ニ向ッテモ希望イタシマスルノデ、ドウカ島民ノ困苦ヲ御考ヘニナリマシテ、黒糖ハ減稅ノ法案ノ成立シマスルヤウ御贊成クダサルコトヲ切ニ希望シマス

○男爵尾崎三良君 唯今ノ修正說ニ付イテ質問ヲ致シタウゴザイマスガ、是ハ提出者カラ御辯ジニナル事ト存ジマスガ、質問イタシテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) チョットモウ一應伺ヒタイ

○男爵尾崎三良君 唯今ノ修正說ニ付イテ質問ガ致シタウゴザイマスガ、其御答辯ニ依ッテ贊否ヲ決シヤウト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵尾崎三良君 ソレハ提出者ノ御答辯ニナルト考ヘマスガ、唯今御辯明ニナリマシタ所デ、ドウモ少シ聴取リニクイ所モアリマシテ、判然了解イタシ兼ネマスルカラ、一應御説明ヲ煩ハシタイ、唯今ノ御說デハ、第一種ノ甲

ノ「樽入白下糖及糖蜜」ト云フ字ヲ削ルト云フ御説明デアリマスカ、サウ云フコトニチヨット伺ヒマシタガ……

○男爵武井守正君 左様デス

○男爵尾崎三良君 サウスルト、其削ッタ種類ノモノハ「乙」ノ「其ノ他ノモノ」ト云フコトニナルノデスカ、其中ニ這入ルノデスカ

○男爵武井守正君 左様デス

○男爵尾崎三良君 サウスルト詰リ茲ニ二圓トシテアル稅率ガ、此樽入白下糖及糖蜜ノ部類ハ此乙ノ部ニ這入ッテ三圓ト云フコトニナルト云フノデスナ、サウ云フ譯ナンデスネ

○男爵武井守正君 左様デス

○男爵尾崎三良君 唯今御説明ノ所ニ依リマスルト、此黒糖ハ減稅ニナル、サウスルト此改正案ト云フモノハ、既ニ減稅ニナッテ居ルノト見マスカ、チ

ヨット此樽入白下糖及糖蜜ダケハ先ヅ元ノ通りニシテ置カウト云フコトニナルノデスナ

○男爵武井守正君 其通り

○男爵尾崎三良君 私モ修正説ヲ賛成ヲ致シマス

○子爵曾我祐準君 私ハ政府委員ニ伺ヒタウゴザイマス、政府委員ハ此修正案ニ賛成ニナルノデアリマスガ、ナラヌノデアリマスガ

〔政府委員櫻井鐵太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御答ヲ致シマス、政府ハ現行法ノ規定ヲ別ニ改メマスル考ヲ有ッテ居リマセヌ、現行法ヲ以テ相當ト考ヘマス

○江木千之君 本員ハ唯今ノ武井男爵ノ述ベラレマシタ修正案、即チ是ハ本員ドモガ提出イタシテ居リマスル所ノ案デゴザイマス、ソレニ付キマシテ一言申述ベテ置キタイト考ヘマス、此原案、即チ衆議院ノ案ニ對シテハ政府ハ不同意ヲ唱ヘテ居ラレマスル、又唯今ノ修正案ニ對シテモ同意ヲ表セスト云フコトデアリマスルガ、其不同意ノ理由トスル所ヲ承リマスルノニ、樽入黒糖、白下糖及糖蜜マデモ減稅スルコトニナルト、減稅ノ額ガ多額ニ上ボル、從

テ政府ノ歳入ヲ減少シテ、爲ニ財政經畫ノ基礎ヲ動カスニ依ッテ、之ニ同意スルコトハ出來スト云フ趣意ノヤウデアリマスルガ、本員ドモノ修正意見ニ依リマスルト、單ニ樽入黒糖ノミヲ減稅スルト云フコトデアリマスルカ、其減稅ノ金額ハ本員ドモノ見マスル所デハドウモ數十萬圓ニ達シナイト考ヘ

マス、數十萬圓内外ノモノカト考ヘマスガ、斯ノ如キ金額デアリマスレバ、ドウモ政府ノ歳入ヨリ減ジタカラト申シマシテモ、決シテ財政ノ基礎ヲ動カスナド、云フヤウナコトニハナルマイト考ヘルノデアリマス、兎ニ角政府ノ心配セラレル所ハ本員等ノ修正ニ依レバ大ニ減少ニナルト云フ譯デアリマ

セスカ、且又外國ノ砂糖ガズンノ輸入サレル虞モ無イノハ、先刻武井男爵カラ述ベラレマシタ通りノ次第デアリマス、サスレバ政府ノ糖業ニ對スル所ノ政策上カラ考ヘマシテモ、全ク是ハ妨ゲハ無イ譯デアリマス、而シテ他ノ

一面ニ於テハ、沖繩大島等ノ昨年消費稅ノ増額ニ依ッテ頗ル困難ヲ感ジテ居リマスル所ノ此農民等ノ困難ヲ除クト云フコトガ出來ル譯デアリマスルノ

デ、此修正案ニ付キマシテハ、彼ノ沖繩大島等ノ事情ニ最モ精通シテ居ラル

、所ノ奈良原男爵ノ如キハ現ニ委員ノ一人トシテ、衆議院案、即チ原案ニ賛

成セラレマシタノデアリマスガ、本員等ノ此修正案ヲ見ラレテ是ハ誠ニ正鵠

ヲ得タモノデアアル、政府ノ心配モ大ニ減ズルシ、而シテ彼ノ地方ノ農民等ノ窮苦モ救フコトガ出來ルノデアルカラ、改メテ此修正案ニ同意スルト申シテ

居ラレルヤウナ次第デアリマス、デドウカ満場ノ諸君ニ於カレマシテモ、修正案ニ御同意クダサレムコトヲ偏ニ希望イタシマス

○子爵堀田正養君 チヨット政府委員ニ質問イタシタウゴザイマス、本員ハ修正案ニ賛成ノ一人デアリマスガ、先刻委員長カラスウナレバ政府ガ收入ヲ非常ニ減ズルト云フコトデアリマシタガ、唯今ノ江木君ノ御話ニ依ッテ見ルト、樽入黒糖、黒糖ノミデアッタナラバ何程ノ金額ヲ減ズルト云フ御見込デアリマスガ、ソレヲ伺ヒマス

〔政府委員櫻井鐵太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御答ヘ申上ゲマス、樽入ノ黒糖ハ主トシテ琉球及大島デ産出イタシマス、四十年ノ産額ヲ見マスルト、琉球ニ於キマシテハ三千七百萬斤、大島ニ於キマシテハ千七百七十七萬斤、此大部分ハ殆ド總テ黒糖ト申シテ宜カラウト存ジマス、デ此三千七百萬斤ト千七百七十七萬斤ト合計五千四百

二對シマシテハ、唯今ハ百斤三圓ノ割合デ課稅ヲ致シテ居リマス、ソレガ若シ二圓ニナルトナリマスルト、百斤一圓ノ減稅ニナリマスル故ニ、五千四百

萬斤即チ五十萬圓餘ノ減額トナル、大體斯ウ云フ計算ニナラウト思ヒマス、其外ニモ沖繩、大島、大島以外ニモ多少ノ黒糖ハ産シマスルガ、此數量ハ至

ッテ少ナイモノデアリマス、大體申上ゲマスト、唯今五十萬少シ以上ノ金ガ減ズルコトニナラウト存ジマス

○伯爵寺島誠一郎君 唯今政府委員カラ樽入黒糖ト云フモノダケ減稅ニナルトシタトキニハ是ノ金額グラキ減少ニナルデアラウト……能ク分リマシ

タガ、ソレデ修正説ニモ反對デアルト云フコトヲ先キホド此所デ述ベラレマシタガ、原案ニモ反對デアアルシ、修正説ニモ反對デアアル、併ナガラ其反對ノ

度合ガ餘ホド少ナクナッタヤウニ感ジラレマス、御尤モナ話ダラウト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ能ク考慮ヲ加ヘマシテ、且ツ既ニ委員會ノ會員ノ……委員

ノ一人デ居ラレル所ノ此糖業ノコトニハ精通シテ居ラレル所ノ奈良原男爵ノ如キモ修正説ニ御賛成ニナッタト云フコトデゴザイマス、從ッテ私モ喜ンデ

修正説ヲ迎ヘルコトニ致シマスルカラ、チヨット茲ニ一言イタシテ置キマス、

他ニマダ加納子爵、伊達男爵、室田君、其他毛利男爵、唐橋子爵、ソレカラ濱口君モ居ラレマスカラ、段々ト若シ御意見ヲ聽クコトガ出來マスレバ仕合

セト思ヒマス、別ニ委員會ヲ代表シテ云々スルコトハ出來マセヌガ、自分トシテハ修正説ニ賛成

○子爵加納久宜君 本員モ本案ニ付キマシテノ特別委員ノ一人デアリマス、唯今武井君カラノ修正説ハ無論異議ハアリマセヌ、要スルニ本案ノ主ナル所ハ黒砂糖ニアッタノデアリマスノデ、其最モ産額ノ小ナル白下糖蜜トノ衡平ヲ得セシメムガ爲ニ餘リ原案ヲイヂリダテラシテハ却ッテ角ヲ矯メムトシテ半ヲ殺スト云フヤウナ虞ガアリハシナイカト思フ所カラ、本員ハ別ニ修正説ヲ提出シナカッタ所以デアリマス、今此修正説ガ成立チマスレバ、本員ハ喜んで賛成イタシマス

○田中芳男君 本員モ此修正説ニ賛成者ノ一人デゴザイマスガ、私ノ賛成シタ理由ガマダ此所ニ顯ハレテ居ラヌヤウニ思ヒマスカラ、チヨットソレヲ申上ゲテ置キマス、政府ハ歳入ヲ減ズルカラシテ是ニモ賛成ガ出來ヌト仰シヤルノハ無理モナイコトデスケレドモ、今日マデ臺灣糖ノ稅ノ方ガ手心デ餘ホド寛大ナ處置ニナツテ居ルト云フ所カラシテ、大分苦情モ出マシタ譯デアリマスカラシテ、是カラハ臺灣糖ニ對シテハ手心即チ寛大ナ處分ハセヌト云フコトデアッタ、然ルトキニハ臺灣糖カラシテ非常ニ餘計ナ收入ガ取レルニ違ヒナイ、然ラバ五十万圓クラキノコトハ一向顧ミルニ及バヌト考ヘマスカラシテ、私ハソコヲ取ツテ之ヲ賛成シタ譯デアリマス、此段申上ゲテ置キマス

○藤田四郎君 一ツ修正案ニ付イテ御提出ノ御方ナリ、ドナタカラデモ承ツテ置キタイト思ヒマスガ、「樽入白下糖及糖蜜」ノ八字ヲ削ルト云フ御動議デゴザイマスガ、提出者ノ考デハ之ヲ御削リナサル目的ト云フモノハ稅率ノ鈞合上、此方ハ尙ホ事情ニ於テ宜シキモノデアアル、即チ乙ト云フ所ノ三圓ノ方ノ課稅デ宜イト云フ御考デアラウカト考ヘマス、然ルニ此糖蜜ナルモノハ樽入黒糖ト云フモノヨリ、モウ一ツ下等ノモノデアリマスガ、砂糖ノ製造ノ發達セル爲ニ砂糖カラ分泌イタシマスルモノヲ除ケルノデス、是ハ使ヒヤウノナイモノデゴザイマシテ、或ハ「アルコール」ニスルトカ、或ハ蜜糖トシテ使ヒマスルカ、他ニ蜜ナリ、飴類ノモノガアリマスル爲ニ此糖蜜ト云フモノハ殆ド處分ニ困ルモノデアリマスルカラシテ、黒砂糖ヨリモ或ハ公平ニ申シマシタナラバモウ少シ廉クナルベキ性質ノモノト思ハレマス、ソレヲ態々御修正ニナリマシテ、更ニ又高イ方ニスルト云フノハ、ドウ云フ御趣意デゴザイ

マセウカ、一應承ツテ置キタイト

○男爵武井守正君 先刻述ベマシタ通り糖蜜ハ……特ニ糖蜜ヲ拵ヘヤウト云ウテ費用ヲ要スルモノデアリマセズ、製糖ニ伴ウテ出來マスルモノデゴザイマスカラ謂ハバ砂糖ノ滓デアアル、捨テ、仕舞ッテモ宜イト思ヒマス、ソレガ稅ヲ三圓ニ引上ゲマシテモ四五圓ノ利益ニナルト云ヘバ、ソレダケガ本業ヨリ儲ケモノデアルト思ヒマス、デ其黒糖ヨリ尙ホ下等ダ劣等ヂヤト云フコトハ果シテサウデゴザイマセウ、決シテ黒糖ヨリ宜イモノトハ認メテ居リマセヌ、ケレドモ黒糖ハ非常ナ勞力ヲ費ヤシテ漸ク島民ガ生活ヲスル所ノモノデアアルカラ減稅ヲスベキ理窟ガアルト存ジマス、決シテ白下糖蜜ハ下グベカラズト申シマスノハ、是ハ減稅シマシタナラバ輸入ノ虞ガアルト存ジマシテ削リマシタ

○藤田四郎君 尙ホ一言御尋ネシタイト存ジマスルガ、此糖蜜ト云フモノハ、ヒトリデニ出來ルモノデアアルカラ、即チ滓デアアルカラ高ク取ツテモ宜イト云フ御説ノヤウニ承リマシタガ、若シ普通ノ砂糖ガ値ガ廉クツテ糖蜜ノ方ガ高イト云フコトニナレバ砂糖ノ獎勵ト云フコトハ出來ヌノデアアル、即チ蜜ニセズニ砂糖ノ黒イモノナリ或ハ赤イモノナリデ、詰リ此場合ハ赤イノハ這入ラスカ知ラスガ、悪ルイ砂糖ヲ拵ヘテ蜜モ入レテ置キマスレバ、其蜜ノ分量モ目方ノ中ニ加ハルノデアリマス、而シテ此惡ルイナリデ置イタ方ガ得ニナルヤウニ思ハレル、ソレデハ砂糖ノ製造ノ獎勵ナリ其他ノ趣意ト相悖ルモノデハアルマイカ、又此糖蜜ヲ輸入シテ云々ト云フ御説ガゴザイマスガ、是ハナカク容易ニ輸入ガ出來マセヌノデゴザイマシテ、此砂糖ト混和スルトカ云フコトハ別デゴザイマセウガ、謂ハユル甲ノ即チ先刻ノ修正案ノ御提出者ガ御説明ニナリマシタヤウナ場合ハアルカ知レマセヌガ、蜜トシテノ輸入ハナカクムヅカシイノデゴザイマスノデ、此懸念ハ無イダラウト信ジマス

○伯爵吉井幸藏君 段々御説モゴザイマシテ大抵分ツタヤウデゴザイマスガ、本員ハ武井男爵ノ御修正ニ全然賛成イタシマスデゴザイマス、ドウゾ最早御採決ヲ願ヒタイト思ヒマス

○谷森眞男君 本員ハ此砂糖消費稅法ノ特別委員デゴザイマシテ、本案ヲ賛成イタシタ者デゴザイマス、併シ唯今武井男爵ヨリ修正案ガ出マシタニ付キマシテ修正案ヲ賛成イタサウト存ジマス、元來委員會ノ節ニモ本員ハ少シ此修正ノ考ヲ有ツテ居リマシタ、併シ此案ノ決議ノ際ニ病氣ノ爲ニ缺席ヲ致シ

マシタノデ其説ハ出シマセナンダノデゴザリマス、併ナガラ唯今ノ修正ニハ最初ヨリ考ヲ有ッテ居リマスノデゴザイマシテ、唯今ノ修正説ニハ賛成ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、武井男爵其他ヨリ定規ノ賛成者ヲ得テ御提出ニ相成リマシタ修正説ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○男爵武井守正君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○南郷茂光君 賛成

○田中芳男君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異議ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會決議通リデ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十八、印紙稅法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告……特別委員長板倉子爵

印紙稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十三日

右特別委員長

子爵 板倉 勝達

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵板倉勝達君演壇ニ登ル〕

○子爵板倉勝達君 唯今議長ヨリ宣告ニナリマシタ印紙稅法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過結果ヲ御報告イタシマス、此委員會ハ去ル十三日ニ開キマ

シテ、政府委員ノ出席モアリ、委員ヨリ第一ニ政府委員ニ向ッテノ質問ハ、衆議院ノ委員會ノ速記録等ニ依レバ此案ニハ政府ハ初發不同意ヲ唱ヘテアル、又其後ニ至ッテハ同意ヲ政府ハ表セラレタコトニナル、是ハドウ云フ譯デ、初メ不同意、後ニ同意ト云フコトニナッタル譯デアラウヤト云フ質問ヲ致シタノデス、然ルニ政府委員ノ答ニ、元來此衆議院ノ提出案ト云フモノハ現行法ノ第三條中ノ千圓以下ノ稅率ヲ五錢トスル、斯ウナッテアルガ五百圓以上ノモノニハ大シテ不都合モアルマイガ、其以下ノ百圓以下ニ五錢ノ印稅ヲ課ケルト云フノハ重キニ失シテアルヤウニ思ハレル、サウシテ大ニ其爲ニ人民ガ不便ヲ來タス故ニ之ヲドウカ百圓以下……サウシテ百圓以下ハ二錢ト改正シタナラバ大ニ宜カラウト思フ、サウスレバ人民ニ便利モ與ヘ其便利ノ爲ニ減稅ト云フヤウナ憂ヒモナク却ッテ二三倍ノ收入増加モアラウト云フコトヲ衆議院ノ提出者ガ言ハレタサウデ、其原案デモト出タノダサウデ、然ルニ政府ハ之ニ反對スルノハ、其理由ト云フノハ百圓以下二錢ト云フ稅率ニ改正スルコトニナレバ先ヅ政府デ豫想スル所ニ依レバ大約八千圓クラキノ先ヅ稅ノ減收トナラウカト思ハレル、ソレ故ニ目下財政整理ノ場合ニ於テ多少ヲ論ゼズ、マア斯ノ如キ減稅ニナル案ニハ到底政府ハ同意ヲ表スルコトガ出來ナイコトデアルト、斯ウ言ハレタサウデ、然ルニ提出者ガ又之ヲ再考シテ政府員ノ言ハレル所、政府ノ見ル所ヲ同情サレタト見エテ初メ百圓以下二錢ト云フノヲ改メテ更ニ二百圓以下三錢ト云フコトニ改正ニナッテ今日ノ原案通リニ出サレタノデ、政府モソレニ依ッテ又此後ノ改正案ヲ考ヘテ見ラレタ所ガ、此改正案ニ依レバ衆議院ノ提出者ニ於テハ二三倍ノ收益ハアルナド、云フコトハ、ドウモ如何ナル譯デアアルカ、サウモ行クマイガ、併ナガラサシタル減稅ノ虞ハアルマイト思フ、依ッテ此減稅ノ虞モ無イコトニナリ、且ツ人民ニ便利ヲ與フルコトニナレバ謂ハユル是ハ一舉兩得ノ案トモ云フモノデアアルカラ、ソレニ付イテ此改正案ニハ今度政府ニ於テ賛成シタ譯デアルト、斯ウ云フコトデ、ソコデ質問其他政府委員ニ向ッテ他ニ其コトデナクシテ印紙稅ノ沿革等ヲ質問イタサレテ、其末ニ原案ノ可否ヲ問ヒマシタトコロ、全會一致ヲ以テ此原案通り可決イタスベキモノト、委員ニ於テハ決議イタシタ譯デゴザイマス、其決議ノ通り御報告イタシマス、ドウカ満場ノ諸君ニ於カレマシテモ其決議通り此案ハ可決アラムコトヲ希望イタシマス、又此案ハ御承知ノ通り頗ル簡單且ツ明瞭ナ案デアアルニ依ッテ何卒讀會省略ヲ以テ御決議アラムコト

ヲ希望イタシマス、且ツチヨット申上ゲテ置キマスルガ、此案ニ付イテ唯今申述ベタ減税ノ沿革等ヲ委シク御承知ナサリタイ御方ハ何卒政府委員ニ御質問アラムコトヲ希望イタシマス、此段御報告イタシマス

○伯爵吉井幸藏君 讀會省略賛成

○伯爵柳澤保惠君 賛成

○伯爵大木遠吉君 賛成

○男爵小原適君 賛成

○田中芳男君 賛成

○中島永元君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○男爵西五辻文仲君 賛成

○男爵北島齊孝君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 板倉子爵ノ讀會省略ノ動議ハ成規ノ賛成者ガアツタト認メマス、讀會ヲ省略スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 原案ニ對シテ御異存ゴザイマセスカ

〔其他「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十九、國勢調査施行ノ準備ニ關スル建議案、伯爵柳澤保惠君外三名發議、會議、柳澤伯爵

國勢調査施行ノ準備ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治四十二年三月十一日

發議者

伯爵柳澤 保惠

子爵板倉 勝達

子爵本莊 壽巨

馬屋原 彰

贊成者

侯爵黒田 長成

外百十七名

貴族院議長公爵徳川家達殿

國勢調査施行ノ準備ニ關スル建議

國勢調査施行ノ準備ニ關シテ政府ハ此ノ際一ノ機關ヲ特設シ其ノ調査ノ範圍、方法其ノ他準備ニ要スル諸般ノ案件ヲ審査セシムルノ計畫アラムコトヲ望ム仍テ茲ニ之ヲ建議ス

理由

今ヤ政府ハ財政ノ整理ヲ急務トシ國力ノ發展ヲ計ラムトスルニ方リ之カ正確ナル資料ヲ得ムニハ必ス國勢調査ノ結果ニ待タサルヘカラス故ニ此ノ際國勢調査施行ノ準備トシテ一ノ機關ヲ設置シ其ノ調査ノ範圍、方法、經費及準備ニ關スル諸般ノ問題ヲ討究審査セシムルノ必要アリト認ム是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

○伯爵柳澤保惠君 本案提出ノ趣意ヲ述ベタウ存ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 御登壇ヲ請ヒマス

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 諸君、私ハ本案提出者ノ一人ト致シマシテ聊カ趣意ヲ述ベタウ存ジマス、一昨日穂積博士カラ東京都制法案ノ御提出ガゴザイマシテ、其時ニ御話ヲ承リマス、此案ハ殆ド上院ノ輿論デアアル、殆ド説明ヲスル必要モ無イデアラウト思フケレドモ聊カ説明ヲシヤウト云フコトデ、御陳述ニナリマシタガ、此私ノ提出ノ案ハ殆ドソレト同様、否、ソレ以上デ、殆ド上院ノ輿論ノミナラズ、衆議院ニ於キマシテモ此事ハ認メラレ、又政府ニ於テモ、一般ノ國民間ニ於テモ國勢調査ノ必要ハ認メラレ居ルデアリマス、都制法案ニ於キマシテハ多少ノ反對ハゴザイマセウガ、此國勢調査ノ必要ニ付キマシテハ反對者ハ殆ド一人モ無イト云フ位デアリマス、唯施行期限ニ付キマシテ多少御説ハゴザイマセウガ、之ヲ實行スルコトニ付キマシテハ私ハ何所ニ於キマシテモ反對ノ聲ヲ聞カヌコトデアラウト云フコトハ斷言シテ憚カラヌノデゴザイマス、シテ見マスルト此所ニ登リマシテ趣意ヲ申上ゲルニハ及バヌカト存ジマスガ、ソレデハ餘リ簡單ニ失シ過ギマスカラ、極ク要領ダケヲ申上ゲタイト存ジマス、諸君、御承知ノ如クニ此國勢調査ニ付キマシテハ衆議院並ニ貴族院ニ於キマシテ既ニ明治二十九年ニ其實行ノ建議及請願ガ出マシタ、建議ハ兩院共ニ通過シマシタ、貴族院ニ於キマシテハ其請願ヲ

採擇ニ至ル機會ハゴザイマセナシタガ、衆議院ニ於キマシテハ通過イタシマシタ、又政府ニ於キマシテハ其願意ニ付イテハ必要ト認メラレテ居リマス、併ナガラ二十九年後ニ於キマシテ一ノ立法上ノ手續モゴザイマセヌノデ、明治三十四年ニ於キマシテ衆議院ニ於キマシテ國勢調査ニ關スル案ガ出マシタノデアリマス、其案ハ殆ド全會一致ノ體裁デゴザイマシテ可決ニナリ、又本院ニ於キマシテモ是ハ大多數ヲ以テ通過イタシマシテ、遂ニ是ガ明治三十五年ニ法律第四十九號ノ名目ヲ以テ此案ガ御裁可ニナリ公布ニナリマシタノデゴザイマス、是ハ私ガ申スマデモナク御承知ノコト、思ヒマスガ、僅カ三條デゴザイマシテ、詰リ國勢調査ハ十年毎ニ一回帝國ノ版圖内ニ施行スルト云フコト、國勢調査ノ範圍、方法及經費、國庫ト地方分擔ノ割合、其他必要ノ事項ハ命令ヲ以テ定ムルト云フノガ第二條、ソレカラ第三條ハ明治三十八年ニ於テ國勢調査ヲ施行スルト云フコトゴザイマシタ、是ハ其時ノ法律デゴザイマシタガ、是ハ其後改正ニナリマシテ、遂ニ國勢調査ヲ行フ時期ハ法律ニ於テ認メラレヌコトニナリマシテ勅令ヲ以テ定メルト云フコトニ改マッタノデゴザイマス、ソレハ彼ノ日露戰爭ノ時デゴザイマシタノデ、財政上ノ困難ト又準備等ノ不十分モゴザイマスシ、又肝腎ノ日本ニ於ケル所ノ人口ノ情態ガ動搖シテ居リ、常ノ有様デナイト云フ理由デ、是ハ延期ニナッタノデゴザイマス、誠ニ御尤ト存ジマス、三十八年後ニ至リマシテ、其後政府ニ於キマシテハソレニ付イテドウ御處置ニナッタカト申シマス、恐ラクハ諸君ノ御耳ニ達シマス所デハ何等ノ處置ガ無カッタト云フコトデアラウト存ジマス、然ルニ此當時、戦局ノ場合デアアルニ拘ラズ、新領土臺灣ニ於キマシテハ三箇年ノ繼續ノ費用デ十九萬圓ニ近イ所ノ費用ヲ以テマシテ戸口調査ノ名目ヲ以テ臺灣ノ島勢調査ガ實行サレマシタ、臺灣ニ於キマシテモ新領土占領ノ上カラシテ種々必要ナ事項ハ施設サレマシタガ、殊ニ私ドモノ最モ感服シテ居リマスノハ、土地ノ調査、舊慣調査、竝ニ此人口ノ調査ノコトデアラウト存ジテ居リマス、即チ是等ノ肝腎ナル所ノ調査ヲ致サレテ、臺灣ノ施政上ノ標準ニセラレ、施政ノ本トセラレタノハ結構ト存ジマス、今日臺灣ガ追々ト諸般ノ設備ヲシ、多少ノ一二ノコトハ缺點ハゴザイマセウガ、大體ニ於キマシテ都合好ク參リマスノハ、主トシテ此臺灣島勢調査ノ與ッテ力アルコト、存ジテ居リマス、然ルニ本國ニ於キマシテ斯カル明治三十五年法律第四十九號ノ改正ガゴザイマシタニ拘ラズ、今日ニ至リマスマデ一向準備ガ届カナイ

ノデゴザイマス、併ナガラ私ハ諸君ニ申上ゲタイコトゴザイマス、決シテ内閣ハ實行ノ意思ガ無イノデハナイ、何トナレバ此政府ノ統計顧問トモ申スベキ所ノ内閣統計局ハ、既ニ此國勢調査ニ付イテハ十分考慮ヲ回ラサレテ、殆ド毎年ノ如ク國勢調査ニ關スルコトヲ調べラレ、其費用ヲ要求サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ大藏省ニ於キマシテハ常ニ之ヲ否定サレテ議會ノ協賛ヲ得ル所ノ順序ニナラヌノデアリマス、誠ニ當局者ノ御苦心ハ私ドモ多少關係ヲ持チマスノデ存ジテ居リマスガ、遺憾ナガライツモ大藏省デ喰止メラレルノデアリマス、其理由ハモウ始終私ドモ聞キマス所ノコトデ、此戦後ノ財政上ノ大整理ヲナシテ經費ヲ節減シナケレバナラス、財政ガ困難デアラド云フコトガイツモ理由デゴザイマス、故ニ一方カラ見ルト國勢調査ト云フコトニ付イテハ輕シク考ヘラレルヤウニ考ヘラレマスケレドモ、他ノ方面ニ於キマシテハ政府當局者ハ國勢調査ト云フコトハ必要デアアル、決シテ疎カニシテハ居ラヌト云フコトヲ申シテ居ラレマス、一方ニ於テ經費削減ヲサレ、他ノ方ニ於テハ同意ヲサレルト云フコトデ是ハ甚ダ不得要領ト云フヤウナ風デアアルノデアリマス、誠ニ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマス、諸君、政府ニ於キマシテハ昨年ヨリ非常ナル英斷ヲ以テマシテ經費ノ御節減ガゴザイマシタ、既ニ陸海軍ニ於キマシテモ昨年度ト今年度ノ繰延ノ費用ヲ見マスルト、二億餘ノ繰延デゴザイマス、其他ノ方面ニ於キマシテモ又繰延ガアッテ段々ト常ニ口ニセラル、所ノ財政整理ノコトニ付イテハ力ヲ盡サレテ居ルコトハ諸君ノ御承知ノ通りデゴザイマス、斯様ニシテ特ニ陸海軍ノ方ニ於テ繰延ベラレ、又他ノ方面ニ於テモ經費節減等モアリマスレバ、果シテ政府ノ御主張ノ如ク收支ノ均衡ヲ得ルコトモアリマセウ、又財政ノ根本整理モ出來マセウ、又豫ネテ希望サレル所ノ公債ノ價格モ騰リ、公債上ノ信用モ増スコトデアラウト思ヒマス、斯様ナモノニ付イテハ是ハ本院ノミナラズ、衆議院ニ於キマシテモ其事ニ付イテハ賛成デアッテ、彼ノ豫算モ首尾能ク通過スルヤウナ次第デアリマス、故ニ私ドモガ信ジマス所デハ此政府ハ實ニ英斷ヲ以テ根本ノ整理ヲサレルノデ、前内閣ニ於テハ陸軍大臣ノ頑固ナル所ノ反對ニ遭ッテ、大藏大臣ノ松田君モ十分ナル削減ガ出來ナカッタ、其繰延モ本年度デアラレタノデハゴザイマセスカ、斯ノ如キ英斷ヲ以テサレル所ノ政府デアアル以上ハ、日本ノ將來ニ於キマシテモ、財政上ノコトニ付イテハ御希望ノ通りノコトガ出來ヤウト考ヘマス、其點ヨリ考ヘテ見マスレバ、最早將來ニ於テノ財政難ト云



フモノハ段々ニ消エルト思ヒマス、此財政難ト云フモノハ救ヒ得ラレテ、段々ト財政ノ整理ガ付キマス上ニ於テハ、續イテ國力ノ發展ヲ圖ラウ、國民ノ發展ヲ圖ルニ付キマシテハ何ガ本デアルクト申シマス、其必要ナル所ノ材料、資料ト云フモノハ謂ハユル此國勢調査ノ結果ニ俟タナケレバナラスノデアリマス、財政ガ豊デアレバ無論出來マセウガ、尙ホ是ハ財政難デアツテモ文明諸國ニ於キマシテハ國勢調査ニ付イテハ疎カニシテハ居リマセヌ、御承知ノ如ク歐羅巴或ハ亞米利加ノ諸國ハ財政ノ難易ニ拘ラズ常ニ國勢調査ノ事業ヲ以テ國ノ唯一ノ必要ナル制度ト致シテ、モウ是ハ百年以前ヨリ今日ニ至ルマデ常ニ此事ヲ實行シテ常ニ國情ヲ觀察スル所ノ唯一ノ材料ニシテ居ルノデゴザイマス、彼ノ七十年戰爭、普佛戰爭ノ時ニ於キマシテ御承知ノ如ク獨逸ハアノ通りノ勝ヲ得タ、又佛蘭西ハ大變ナ敗北デゴザイマス、然ルニソレ等ニ拘ラズ獨逸ニ於キマシテハマダ戰後、常態ニ復サヌニ拘ラズ、戰後直チニ國勢調査ヲ實行イタシマシタ、又佛國ハ彼ノ敗北ノ餘ヲ承ケマシテ直チニ國勢調査ヲ斷行シマシタ、戰前ト戰後トノ比較ヲ取ル爲ニ此調査ヲ怠ラスデヤッタノデアリマス、シテ見レバ財政難デアラウガ、財政難デナカラウガ、何レニシテモ必要ナ國勢調査ノ事業ト云フモノハ必ズドコノ國デモヤラナケレバナラスト云フコトハ之ヲ以テモ分ラウト存ジテ居リマス、我が政府ニ於キマシテモ、御主張ノ如クニナリマスレバ、財政ノ整理ハモウ近キ將來ニ於テ出來ルコトデアリマスルシ、又一方ニ於キマシテハ此戰後ノ情態ガドウデアルクト申シマス、最早戰時ノ如ク人口ノ動搖ハゴザイマセヌ、日本ノ人口ノ情態ハモウ殆ド今日デハ常ノ有様ニ復シマシテ、謂ハユル人口ノ動搖ノ無イ所ノ有様デゴザイマス、然ラバ財政難モ無シ、人口ノ動搖モ無イ有様ニナリマシタ上ニ於キマシテハ、彼ノ明治三十五年法律第四十九號ヲ修正シテ延期ニナリマシタ所ノ理由ハ最早消滅スルコトニナリマスカラシテ、續イテ起ル所ノ結果トシマシテハ、法律ノ命ズル所ノ國勢調査ヲ實行シナケレバナラスト云フコトニナルノデゴザイマス、デ總理兼藏相タル所ノ桂侯爵ハ豫算委員會ニ於キマシテ私ノ國勢調査ニ付イテノ質問ニ對シテ言ハレルニハ、無論國勢調査ノ必要ハ認メテ居ルカラ、財政ノ整理ガ出來レバイツデモヤルト云フノデアル、決シテ此考ハ拔ケヌノデアル、必ズ諸君ノ御希望ハ充タスデアラウト云フ意味ヲ有ツテ言ハレマシタ所ヲ以テ見マセバ、國民ノ情態、人口ノ有様ガ常態ニ復シ、又財政ノ整理モ付キマシタ曉ニ於キマシテハ必ズ

此言ハ實行サレルコトデアラウト思フノデゴザイマス、然ラバ此近キ將來ニ於テ國勢調査ノ實行ガアリ得ルトシマスレバ、先ツ第一ニ起リマス所ノ問題ハ其準備ノ事業デアラウト思ヒマス、其準備ノ事業ト申シマスノハ、ナカク短イ時デ出來ルモノデハゴザイマセヌ、既ニ先年、明治三十八年ニ於テ國勢調査ヲ實行スルト云フ法律ガマダ活キテ居ル時分ニモ、内閣ノ統計局ノ案ニ據リマス、七箇年繼續ノ事業デ、二百三十六萬餘ノ金ヲ請求シタノデゴザイマス、ケレドモ是ハ中央ノ費用デ、其他地方ノ費用ト致シマシテハ約二百萬近クノ金ガ矢張り七箇年ノ年度割デ見積ラレテ居リマシタカラ、詰リ四百四十萬圓足ラズノモノガ其時分ニハ七年繼續デ出ル譯デアッタノデゴザイマス、ソレニ於キマシテモ三十八年ニ實行ヲ致シマスニシテモ二三年前、少ナクトモ二年グラキハ準備ニ時ヲ要スルノデゴザイマス、ソレデゴザイマスカラシテ、此近キ將來ニ於テ此事業ヲ斷行スルト云フコトニナリマスレバ、ドウシテモ二箇年グラキノモノハ準備事業ニ要サナケレバナラスノデアリマス、直グ是ハ思ヒ立ツテ直グ出來ルト云フモノデアリマセヌノデゴザイマス、デ自分ドモノ建議案ノ趣旨ト云フモノハ、要スルニ此財政ノ整理ヲセラレ、國力ノ發展ヲ圖ラウトスルニハ正確ナル資料ヲ此國勢調査ノ結果ニ俟タナケレバナラスト思フノデアル、故ニ今ノ如キ準備ノ時代ヲ要シマスカラ、其準備ヲシタイ、此準備ハ政府ニ於テモ必要ト認メラレテ之ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、併ナガラ或ハ斯ウ云フ御疑念ガ出ルカモ知レマセヌ、政府ニ於テハ内閣統計局ナルモノガアツテ、アレガ萬事ノコトヲヤルノデアルカラ、何モ此際ソレニ向ツテ別ニ機關ヲ作ルト云フコトハ要ラスデハナイカト云フ御話モゴザイマセウガ、私ドモノ信ジマス所デハ、統計局ナルモノハ統計ノ實行ニ當ル所ノ局デアツテ、丁度先キホド内務次官ノ言ハレマシタ如クニ、中央ニ醫者ノ會ガアリマシテ、ソレニ持ツテ行ツテ總テ醫事上ノコトヲ内務省カラ審議ヲ託サレル如クニ、此内閣統計局ナル統計ノ實行ニ當ル所ノ局ニ對シテ顧問トシテ此事業ヲ審査スル爲ノ機關ヲ設ケタイト申シマスノハ、決シテ無用ナモノデアアルマイト思ヒマス、事柄ヲ慎重ニ致シ十分ノ調査ヲ盡スト云フコトニ至ツテハ統計局ノ案ハ勿論良イモノデアリマセウガ、或ハソレガ實行シ難イヤウナ案デアリマスレバ、又ソレニ付イテハ多少ノ意見ヲ加へ、成ルベク國民ノ希望ヲ充タスヤウニヤリタイト云フヤウナコトニ付イテノ參考トナルニハ、斯ウ云フ所ノ新規ノ機關ヲ設ケタナラバ、最モ上

下ノ意思ヲ疏通スルニ付イテモ便利ナコトデアラウト存ジテ居リマス、詰ル所、私ノコ、デ希望シマス所ノ新機關ト申シマスル建議案ニゴザイマスノハ、詰リ統計上ノ諮問ニ答へ、國勢調査ニ關シテノ審査、若クハ調査ニ付イテ是ガ一ノ機關トナツテ國勢調査ノ實ヲ舉ゲルコトニシタイト云フノデゴザイマス、デ費用ノコトガ恐ラクハ之ニ付イテ諸君ノ御疑念ガゴザイマセウガ、是ハ純然タル諮問機關デゴザイマスノデ、決シテ多ク金ノ掛カルモノデゴザイマセウ、即チ此機關ハ委員組織ニナリマシテ、若干ノ委員、或ハ貴衆兩院ノ議員デアルトカ、民間ノ統計學者デアルトカ、或ハ其他斯ノ如キ事業ニ關係ヲ有ツベキ所ノ人ヲ以テ委員會ノヤウナモノヲ組織スルノデゴザイマスカラシテ、費用ノ如キニ至ツテハ私ノ信ズル所デハ一萬圓以下デ出來ヤウト思ツテ居リマス、費用ハ極ク僅クデゴザイマシテ、其必要タルヤ此明治三十五年法律第四十九號ノ國勢調査ヲ上下ノ輿望ニ對シマシテ此機關ニ於テ準備事業トシテ、十分ノ事ヲ研究シテ出來得ルダケ此一般ノ希望ヲ充タサウト云フノガ此案ノ大體ノ趣意デゴザイマス、別ニ此建議案ハムヅカシイコトデモゴザイマセズ、又諸君ノ豫ネテノ御希望ヲ充タスニ付イテノ第一著ノ順序トシテノモノデゴザイマスルカラシテ、私ハ最後ニ一ノ動議ヲ提出イタシマス、何卒此案ニ向ツテハ即決ヲ願ヒタイ、即チ普通ノ手續ヲ履マズシテ之ニ付イテノ即決ヲ茲デナサレテ確定議ニナサルコトヲ私ハ希望スルノデゴザイマス

○子爵會我祐進君 委員ニ付託ヲセズシテ直チニ決議ニナルコトヲ希望シマス、賛成シマス

○馬屋原彰君 本員モ即決ノ動議ニ賛成イタシマス

○田中芳男君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ申シマスガ、即決ニハ別ニ賛成者ヲ要シナイノデアリマス、伯爵柳澤保惠君ノ建議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際諸君ニ申上ゲマスガ、過日請願委員長ニ調査期限ヲ御定メニナリシマシタ競馬ノ善後策急施ニ關スル請願ノコトデアリマ

スルガ、紹介議員二條公爵、青山子爵ヲ經テ、アノ請願ハ文意不備ノ點ガアルニ依ツテ下ゲテ貰ヒタイト云フコトヲ議長ニ申出マシタ、依ツテ其手續ニ致シマシタカラ左様御承知ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 御委託ニ相成リマシタ特別委員ノ選定ヲ致シマシタカラ、其氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

種痘法外二件特別委員

- 伯爵大炊御門幾麿君 子爵實吉 安純君 子爵永井 尚敏君
- 伯爵高木 兼寛君 男爵石黒 忠直君 大澤 謙二君
- 男爵伊丹 春雄君 村岡淺右衛門君 日高榮三郎君

明治四十年年度豫備金支出ノ件承諾ヲ求ムル件外五件特別委員

- 伯爵大木 遠吉君 子爵伏原 宣足君 子爵藤井 行徳君
- 男爵調所 廣丈君 男爵辻 健介君 何 禮之君
- 森山 茂君 木場 貞長君 久保市三郎君

用惡水井路敷遺地買上ニ關スル法律案特別委員

- 子爵松平 直徳君 三浦 安君 江木 千之君
- 男爵藤大路 親春君 男爵安場 末喜君 西村 亮吉君
- 兒玉 淳一郎君 加藤 正惠君 鎌田 勝太郎君

裁判所構成法中改正法律案特別委員

- 侯爵花山院 親家君 子爵黒田 和志君 男爵關 義臣君
- 男爵波多野 敬直君 男爵藤枝 雅之君 男爵二條 正麿君
- 菊池 武夫君 馬屋原 二郎君 橋本 雄造君

農會法中改正法律案特別委員

- 侯爵佐竹 義生君 子爵關 博直君 子爵松平 直敬君
- 男爵北島 治房君 前田 正名君 田中 芳男君
- 男爵平野 長祥君 男爵眞田 幸世君 伊藤 長次郎君

獸畜市場法案特別委員

- 伯爵廣澤 金次郎君 子爵松平 忠禎君 子爵水 野直君
- 伯爵尾崎 三頁君 男爵青山 元君 男爵若王子 文健君
- 谷森 眞男君 下條 正雄君 森 廣三郎君

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマ  
ス、本日ハ是デ散會イタシマス  
午前十一時五十五分散會